

第 2 回大阪府環境審議会環境総合計画部会 発言メモ

(社)関西経済連合会

経済調査部長 藤原幸則

本日は、この部会におけるこれから議論にあたって、経済界に身を置く立場から、基本的な考えを 4 項目に分けて申し述べたい。

1. 環境と経済の両立、連鎖について

- ・ 環境と経済を対峙するものでなく、両立することが重要ということの基本認識とするべきである。言い換えれば、「環境と成長の連鎖（スパイラル）を基軸に世界をリードする環境先進地域・関西」を形成していくという戦略的な視点が必要である。

2. 2020 年に向けた関西ビジョン（関経連から昨年 10 月発表）について

- ・ 2020 年の関西の「ありたき姿」を実現するために、今後 10 年間の関西の発展戦略を考える上で、「環境」「技術力・ビジネス力」「中堅企業」「アジア・グローバル」が重要なキーワード。これらを意識した活動を展開していく。
- ・ 環境に関して、「関西ビジョン 2020」のめざすところは、『環境先進地域・関西』のアピールである。
- ・ 関西には、大阪湾ベイエリアをはじめとして、すでに液晶パネルやプラズマディスプレイパネル、太陽光発電パネル、燃料電池など、世界中が取り組もうとしている、新エネルギーや電気自動車などの環境・エネルギー産業が集積しつつある。環境・エネルギー産業は次世代を担う重要な産業分野の一つであり、日本がリードし、世界に貢献できるものであることから、すでに他地域に先駆けてその芽が育ちつつある関西で積極的な集積をより一層図り、環境と成長の上昇スパイラルを形成していくことが大切である。
- ・ また、地球温暖化対策の主力として、世界的に見直されている原子力発電も、地域の理解の下、世界をリードする技術で温室効果ガス削減と電力の安定供給に貢献している。
- ・ さらに、全国に先駆けて、経済界と自治体が協力して「エコスタイル（クールビズ）」を導入するなど、環境に配慮したビジネススタイル、ライフスタイルを率先して取り入れてきた。

- ・ このように、関西は、環境と経済の両立、連鎖の下、低炭素社会実現に向けた優位性を有している。そこで関西では、新エネルギーや次世代環境技術の開発、環境ビジネスの振興、環境に配慮した新たなライフスタイルや都市づくりなどの実現・普及をめざし、世界に対して、「環境先進地域・関西」をアピールすることになっている。
- ・ 特に、海外に向けては、経済成長著しい中国、インドといった人口10億人を超えるアジアの大国に対して、具体的な技術事例やトータルソリューションを提示し、ビジネスの視点から環境問題の解決に貢献していく。

3. 地球温暖化抑止について

- ・ 我が国の中期目標（2020年）に関しては、関経連として、かねてより、国際的公平性の確保、実現可能性、国民的合意が必要であると主張している。
- ・ 今後、ポスト京都の国際交渉が進む中で、日本としては、世界全体で真に実効ある温暖化対策を進めていくため、米国や中国などの主要排出国が入った国際枠組の構築をめざすことが最も重要であり、日本が削減目標を国際的に約束するための大前提と考える。
- ・ 実際に温室効果ガスを減らすことが大事であり、日本は世界最先端の環境エネルギー技術を持っており、世界の温室効果ガスの削減に大いに貢献できることを、産業界とも連携してしっかり世界に発信することを期待している。

4. エネルギー環境教育について

- ・ エネルギー環境教育につきまして、関経連としては、これまで、その重要性をとりあげ、政策提言などで主張してきたところ。今年度からは、具体的な支援活動の取り組みに着手している。
- ・ 関係団体とも連携し、次の視点から支援活動に取り組みを始めている。

児童や生徒に対するエネルギー環境教育のさらなる浸透

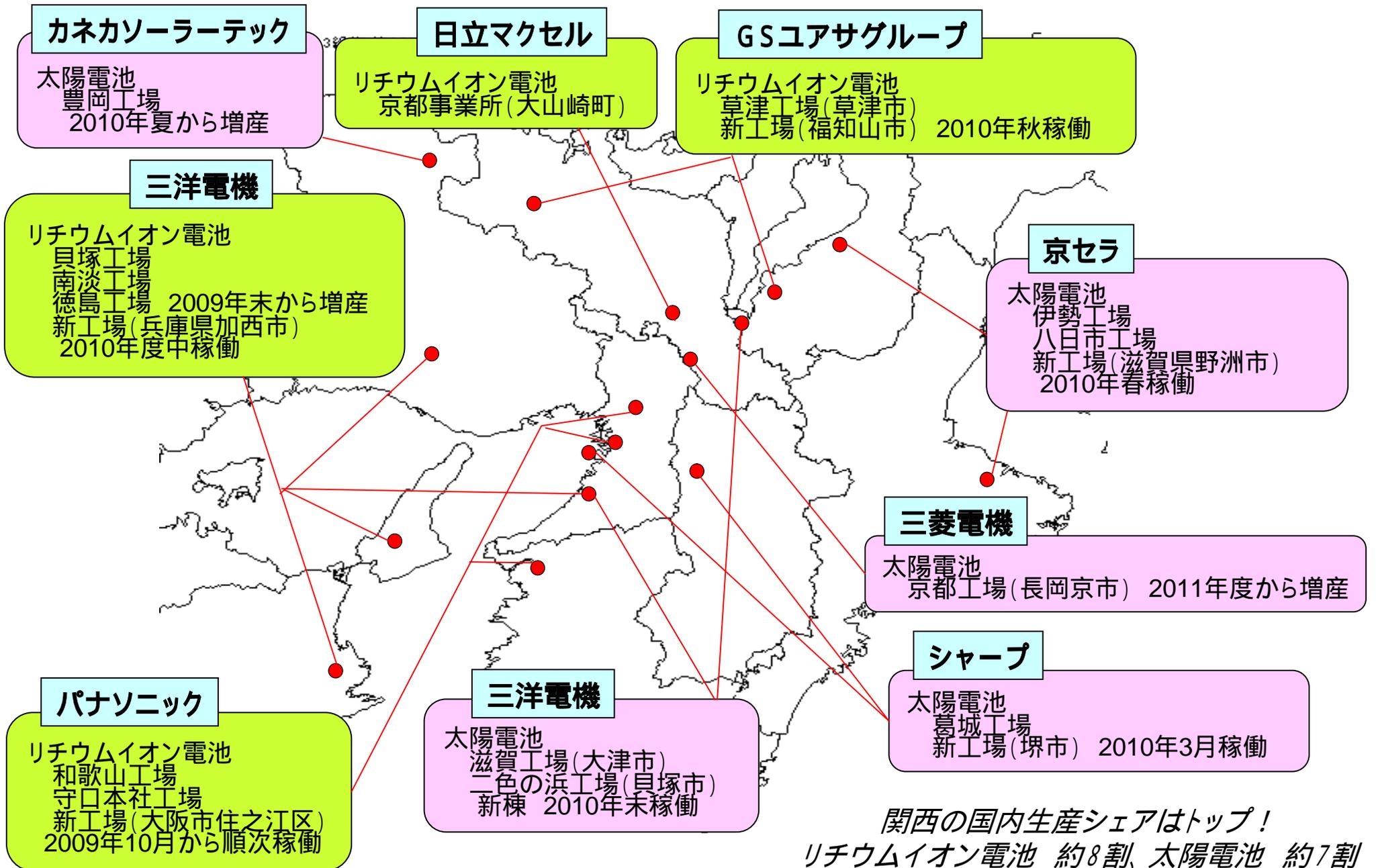
従来から各企業が取り組んでいる出前講座等の実績を踏まえ、メディアへのPRなどの新たな工夫により、活動の「見える化」を図る。

先生方に対するエネルギー環境教育の教えやすさの提供

先生方に対して、エネルギー環境教育をより分かりやすくご指導いただけるよう、新学習指導要領に対応した工夫を行いながら、支援活動に取り組む。

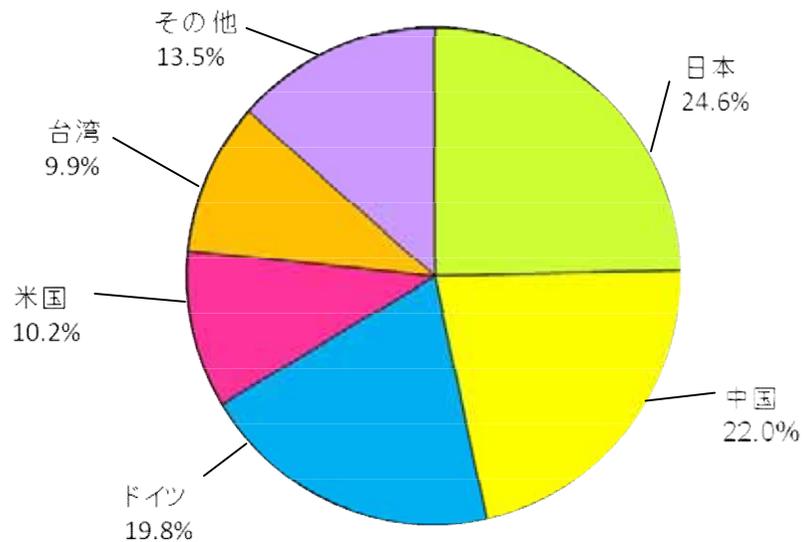
以上

関西の太陽電池・リチウムイオン電池の生産拠点(2009年～2011年に増産体制が整う)



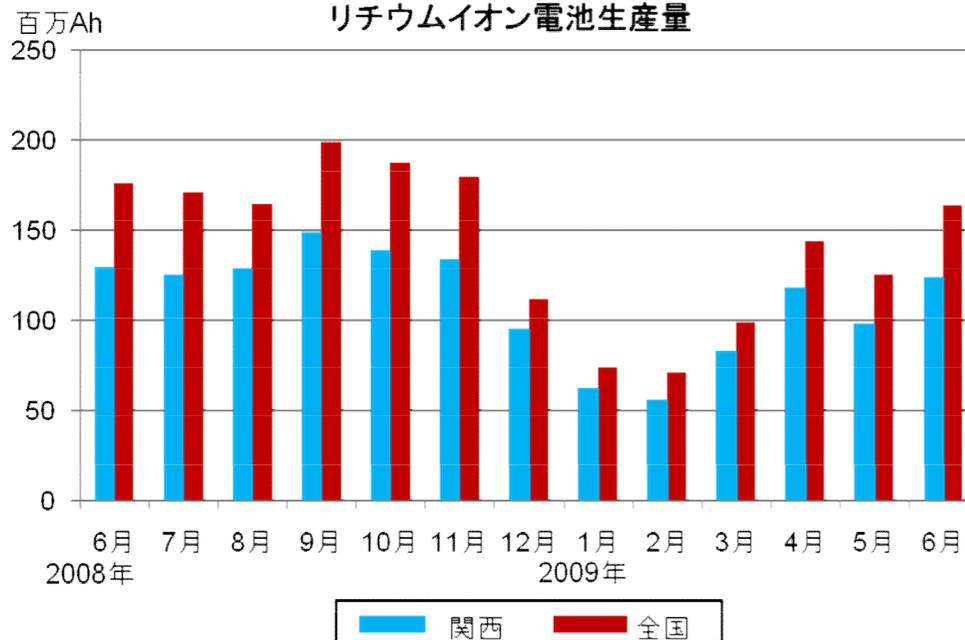
関西の国内生産シェアはトップ!
リチウムイオン電池 約8割、太陽電池 約7割

太陽電池生産の世界シェア(2007年)

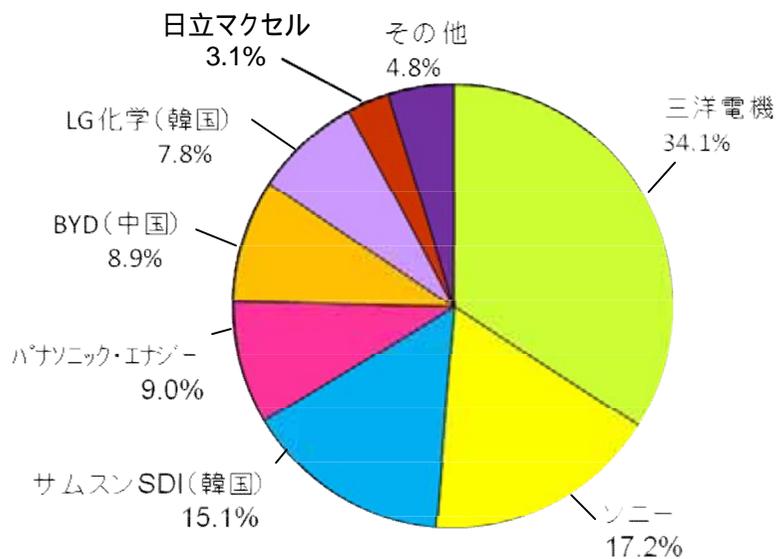


(出所) 経済産業資料、PV News より作成

リチウムイオン電池生産量



リチウムイオン電池生産の世界シェア(2008年度)



(出所) 日本エコノミックセンター資料より作成

太陽電池モジュール生産量

